

個人情報保護方針（プライバシー・ポリシー）

当院は、患者様に信頼され、公正で効率的な医療を受けていただけるよう日々努力を重ねております。「患者様の個人情報」につきましても適切に保護し管理することの重要性を認識しております。そのために、以下の個人情報保護方針を定め、確実な履行に努めるとともに方針を公表いたします。

1. 個人情報の収集について

当院が患者様の個人情報を収集する場合、診療・看護および患者様の医療に関わる範囲で行います。その他の目的に個人情報を利用する場合は、利用目的をあらかじめお知らせし、ご了解を得た上で実施いたします。

2. 個人情報の利用および提供について

当院では、患者様の個人情報の利用において、以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて使用いたしません。また、法令の定める場合等を除き、患者様の許可なくその情報を第三者に提供いたしません。

- ・患者様の了解を得た場合
- ・個人を識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合
- ・法令等により提供を要求された場合

3. 個人情報の適正管理について

当院は、患者様の個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、患者様の個人情報の漏えい、紛失、破壊、改ざん、または患者様の個人情報への不正なアクセスを防止することに努めます。

4. 個人情報の確認・修正等について

当院は、患者様の個人情報について患者様が開示をお求めになった場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「診療情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も調査し、適切に対応いたします。

5. 問い合わせの窓口

当院の個人情報保護方針に関してのご質問や、患者様の個人情報のお問い合わせは、受付窓口でお受けいたします。

6. 法令の遵守と個人情報保護の仕組みの改善

当院は、個人情報の保護に関する日本の法令、その他の規範を遵守するとともに、上記の各項目の見直しを適宜行い、個人情報保護の仕組みの継続的な改善を図ります。

院 長

当院での患者様の個人情報の利用目的

1. 院内での利用

- 1.患者様に提供する医療サービス
- 2.医療保険事務
- 3.会計・経理
- 4.医療事故等の報告
- 5.当該患者様への医療サービスの向上
- 6.院内医療実習への協力
- 7.医療の質の向上を目的とした院内症例研究
- 8.その他患者様に係る管理運営業務

2. 院外への情報提供としての利用

1. 他の病院、診療所、助産院、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
2. 他の医療機関等からの照会への回答
3. 患者様の診療等のため外部の医師等の意見・助言を求める場合
4. 検体検査業務等の業務委託
5. ご家族への病状説明
6. 保険事務の委託
7. 審査支払機関へのレセプトの提供
8. 審査支払機関または保険者からの照会への回答
9. 事業者等から委託を受けた健康診断に係る事業者等へのその結果通知
10. 医師賠償責任保険等に係る医療に関する専門の団体や保険会社等への相談または届出
11. その他患者様への医療保険事務に関する利用

3. その他の利用

- 1.医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
- 2.医学・医療等の向上などの目的により学術・教育・研究に用いる場合
- 3.外部監査機関への情報提供

留意事項

- 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨を窓口までお申し付け下さい。
- お申し出がないものにつきましては、同意していただけるものとして取り扱わせていただきます。
- これらのお申し出は、後からいつでも撤回、変更等を行うことができます。

当院は、厚生労働省が定める次の施設基準に適合している旨、厚生局長に届出を行なっております。

(1)基本診療料の施設基準

【夜間・早朝等加算】

※土曜日12時—14時、日曜日10時—14時に受付の方は基本診療料に下記を上乗せします。

点数	窓口負担額		
	1割負担	2割負担	3割負担
50点	50円	100円	150円

【明細書発行体制等加算】

当院では、患者さまへの情報提供を積極的に推進していく観点等から、領収証の発行の際に、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行いたします。明細書は、行われた検査や手術等の名称が記載されるものですので、その点、ご理解いただき、明細書の発行を希望されない方は、会計にてその旨お申し出下さい。なお、窓口負担額のない患者さまにも明細書を無料で発行いたします。

【時間外対応加算2】

当院では、再診の患者さまに対して時間外対応加算を算定しております。通院されている方が時間外に緊急の相談がある場合にも対応できるよう【時間外対応加算2】という施設基準を満たす体制を整えています。(初診の患者さまには対応しておりません。)そのような診療体制に対して、当クリニックに通われるすべての患者さまの毎回の診療において、保険点数が加算されます。当院へのご連絡は090-3834-5660へ電話してください。状況により通話できない場合はメッセージを残してください。確認次第折り返し連絡いたします。原則当院で対応いたしますがやむを得ず対応できない場合は下記の医療機関にご連絡ください。

【大阪病院】082-421-0800

【短期滞在手術等基本料1】（施設基準）

- ・術後の患者の回復のための回復室が確保されていること
- ・看護師が常時患者4人に1人の割合で回復室に勤務していること
- ・短期滞在手術等基本料に係る手術(全身麻酔を伴う者に限る。)が行われる日において、麻酔科医が勤務していること

【医療情報取得加算/医療 DX 推進体制整備加算】

当院はオンライン資格確認を行う体制を有しており、患者さまの受診歴、薬剤情報、特定健診情報その他必要な診療情報を取得・活用するなど医療 DX にかかる取り組みを実施することで、質の高い医療を提供できるよう取り組んでおります。

※正確な情報を取得・活用するため、マイナ保険証の利用にご協力お願いいたします。

(2)特掲診療料の施設基準

【コンタクトレンズ検査料1】

コンタクトレンズ装用のために受診の方の診療(眼科学的検査)に係る費用は次のとおりです。

基本診療料		特掲診療料
初診料	291点	コンタクトレンズ検査料1 200点
再診料	75点	
明細書発行体制等加算	1点	

- ・コンタクトレンズ装用のために受診の方であっても、診療内容等により、異なった診療費用を算定する場合があります。
- ・コンタクトレンズ装用のために受診の場合、当院で過去にコンタクトレンズ検査料を算定されたことのある方の基本診療料は再診料を算定いたします。

診療医師名：原田 陽介

眼科診療経歴：平成19年から眼科診療

【一般名処方加算】

当院は患者さまに必要な医薬品を確保するため、医薬品の供給状況を踏まえつつ、薬局とも連携のうえ、一般名処方(お薬をメーカー・銘柄を指定せず記載すること)をおこなっております。一般名処方により、特定の医薬品の供給が不足した場合でも患者さまに必要な医薬品を提供しやすくなりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

当院が行った手術件数

（厚生労働省が定める施設基準により、厚生局長に届出が定められている手術）

頭蓋内腫瘍摘出術等	0 件
黄斑下手術等	114件
鼓室形成手術等	0 件
肺悪性腫瘍手術等	0 件
経皮的カテーテル心筋焼灼術	0 件
靱帯断裂形成手術等	0 件
水頭症手術等	0 件
鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0 件
尿道形成手術等	0 件
角膜移植術	0 件
肝切除術等	0 件
子宮附属器悪性腫瘍手術等	0 件
上顎骨形成術等	0 件
上顎骨悪性腫瘍手術等	0 件
バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	0 件
母指化手術等	0 件
内反足手術等	0 件
食道切除再建術等	0 件
同種死体腎移植術等	0 件
胸腔鏡下・腹腔鏡下手術	0 件
人工関節置換術	0 件
乳児外科施設基準対象手術	0 件
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	0 件
冠動脈、大動脈バイパス移植術 （人工心肺を使用しないものを含む。）及び体外循環を要する手術	0 件
経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈粥腫切除術及び 経皮的冠動脈ステント留置術	0 件

（令和7年1月～12月）

当院におけるかかりつけ医機能について

当院は、発生頻度の高い疾患についての診療を行い、日常的な診療において、患者様の生活背景を把握し、適切な診療・保健指導を行い、必要な場合には、地域の医師・医療機関と協力して解決策を提供します。この他、患者さんが適切な医療機関の選択ができるように、当院の有する「かかりつけ医機能」に関する体制を以下のように報告します。

はらだ眼科

2026年1月1日

1. かかりつけ医機能に関する研修の修了者および総合診療専門医について

研修の修了者の有無/人数	無	<input type="radio"/>	有		有の場合 →	名
総合診療専門医の有無/人数	無	<input type="radio"/>	有		有の場合 →	名

2. 一次診療の対応について

(1) 一次診療の対応ができる領域

該当無し			
皮膚・形成外科領域		神経・脳血管領域	精神科・神経科領域
眼領域	<input type="radio"/>	耳鼻咽喉領域	呼吸器領域
消化器系領域		肝・胆道・膵臓領域	循環器系領域
腎・泌尿器系領域		産科領域	婦人科領域
乳腺領域		内分泌・代謝・栄養領域	血液・免疫系領域
筋・骨格系及び外傷領域		小児領域	

(2) 一次診療を行うことができる発生頻度が高い疾患

該当無し				
貧血		糖尿病	脂質異常症	統合失調症
うつ（気分障害、躁うつ病）		不安、ストレス（神経症）	睡眠障害	認知症
頭痛（片頭痛）		脳梗塞	末梢神経障害	結膜炎、角膜炎、涙腺炎 ○
白内障 ○		緑内障 ○	近視・遠視・老眼 （屈折及び調節の異常） ○	中耳炎・外耳炎
難聴		高血圧	狭心症	不整脈
心不全		喘息・COPD	かぜ、感冒	アレルギー性鼻炎
下痢、胃腸炎		便秘	慢性肝炎（肝硬変、 ウイルス性肝炎）	皮膚の疾患
関節症（関節リウマチ、 脱臼）		骨粗しょう症	腰痛症	頸腕症候群
外傷		骨折	前立腺肥大症	慢性腎臓病
更年期障害		乳房の疾患	正常妊娠・産じょくの管理	がん
その他の疾患（ ）				

3. 医療に関する患者からの相談への対応について

可 ☐ 不可